

39 期 2023-2024 年度 浜名湖ロータリークラブ週報

例会会場：浜名湖レークサイドプラザ 〒431-1424 静岡県浜松市北区三ヶ日町下尾奈 200 TEL・FAX 053-524-1177
E-mail hamanako@hamanako-rc.com HP http://hamanako-rc.com

例会日：毎週火曜日 12:30～13:30

会 長：中村 哲也 幹 事：中尾 有希子 公共イメージ委員会委員長：近 藤 茂

第 1738 回例会 2023 年 7 月 25 日 (火) 晴 VOL.39 週報 No.3

点鐘：中村 哲也 会長 SAA：伊東 隆士 ソング♪ それでこそロータリー

本日のプログラム：第 1 回ガバナー補佐訪問

四つのテスト唱和：原 三留

本日のゲスト：静岡第 5 グループガバナー補佐 岩崎 伸次 様 (浜北 RC)
同事務局長 村松 宣雄 様 (浜北 RC)

会員数 39 名 / 免除会員数 0 名 / 計算総数 39 名 / 本日の出席数 24 名 / 暫定出席率 61.54%

会長挨拶 * 中村 哲也



4つのテストについて前回もお話しさせていただきましたが、4つのテストは東京クラブの本田さんという方が 69 年前に翻訳されたのですが、解釈に疑問があるというロータリアンも多く、今日は別の解釈に沿って4つのテストを深掘りしてみたいと思います。どちらかという前回とは4つのテストを広義に解釈したもので、今日は狭義の解釈と考えていただければと思います。そもそもハーバードテラーが倒産の危機ある会社の社長を引き継ぎ、なんでいきなり4つのテストを会社の倫理基準にしたかです。まず考えられるのは、それまでのクラブアルミニウム社が信頼に足る会社ではなかった、そして 250 名の社員が勝手に行動していて、その結果評判も悪く業績が悪化し倒産の危機に瀕していた可能性があります。そこで会社を再建させるために社員 250 名をまとめる現実的な基準を作ったということだと思います。決して高邁(こうまい)な、事業の倫理基準、商道徳を高めるため作られたものではない。そういう視点で捉えると、

Is it the truth? 真実かどうか? 実際には商取引において、品質、納期、契約条件などに嘘偽りがないかどうかは重要なことで、真実というのは、人間の心を通じた定性的な判断であるのに対して、事実とはその事実があったか、無かったかの二者択一の判定ですから、ここでは訳として「事実かどうか」という言葉を用いるべきではないかということです。

Is it fair to all concerned? みんなに公平か、ですが、fair と all concerned という言葉の翻訳が問題だと。fair は公平ではなく公正と訳すべく、公平とは平等分配を意味するので、悪いことをして得たお金でも平等に分ければ、それでよいこととなります。All concerned は all だけが訳されており、肝心の concerned が省略されています。4つのテストは「商取引」の基準として定めたと考え、この concerned (関係する人) は「取引先」のことを意味すると考えることができます。そうすると、このフレーズはみんなに公平かではなく、「すべての取引先に対して公正か」ということとなります。

Will it build goodwill and better friendship? 好意と友情を深めるか、ですが、goodwill は単なる好意とか善意を表す言葉ではなく、商売上の信用とか評判を表すと共に、店ののれんや取引先を表します。すなわち、その商取引が店の信用を高めると同時に、よりよい人間関係を築き上げて、取引先を増や

すかどうかを問うもので、「信用を高め、取引先をふやすか」と訳すべきということです。

Will it be beneficial to all concerned? みんなのためになるかどうか、ですが、Benefitは「儲け」を表す言葉です。商取引において適正な利潤を追求することは当然なことで、決して恥ずべきことではありませんが、売り手だけが儲かった、また買い手だけが儲かったのでは公正な取引とは言えません。その商取引によって、すべての取引先が適正な利潤を得るかどうかが問題なのです。そこで「すべての取引先に利益をもたらすか」と訳すべきだということです。

言行はこれに照らしてから

1.事実かどうか

1.すべての取引先に対して公正か

1.信用を高め取引先を増やすか

1.すべての取引先に利益をもたらすか。———
ということになります。

社会に広く広義に解釈する4つのテストよりもこの方が現実的な職業倫理かもしれません。そして大切なことは、私たちは「四つのテスト」を通して他人を見るのではなく、自分自身の考え、意見、行動を考えるべきで、この4つのテストは自分自身について判断するための鏡であって、他人を判断するための窓にしてはいけないということです。この点は重要なポイントだと言われています。以上会長挨拶といたします。

幹事報告 * 中尾有希子



親善会議参加のご案内

*回覧物:

- ・納涼例会出欠表
- ・日台ロータリー親善会議参加可否表
- ・ハイライトよねやま vol.280

*配布物:

- ・1737回週報
- ・ロータリーの友7月号
- ・2023~2024年度手帳
- ・第8回日台ロータリー

公共イメージ委員会

委員 渡邊 正敏



- ・ロータリーの友7月号の紹介
- 〈横組み〉

P10 RI 会長紹介

P28 ガバナーの横顔

P42 持続可能な母子の健康への取り組み

〈縦組み〉

P4 女性がより活躍できる組織・社会づくり

P9 この人訪ねて

親睦委員会 委員長 小島 明良



- ・8/1 納涼例会の件
- 次週の例会は、家族納涼例会です。皆様に楽しんでいただけるアトラクションと、ジャンケン大会を企画しています。多くの皆様のご参加をよろしくお願いいたします。

スマイル報告

中村哲也 静岡第5グループガバナー補佐岩崎伸次様、同事務局長村松宣雄様、ようこそ浜名湖へ。本日はご指導よろしくお願いたします。

中尾有希子 岩崎ガバナー補佐、村松事務局長、浜名湖までお越しいただきありがとうございます。本日はよろしくお願いたします。

中村一壽 岩崎ガバナー補佐様、村松事務局長様、本日は宜しくお願いたします。

菅沼仁司 岩崎ガバナー補佐様、村松事務局長様、公式訪問ありがとうございます。本日はよろしくお願いたします。

原 三留 今回の例会で私は最終例会となります。31年間のロータリー生活、ありがとうございます。ありがとうございました。

佐原功一郎 岩崎ガバナー補佐様、村松事務局長様、公式訪問ご苦勞様でございます。本日はよろしくお願いたします。

森 俊幸 岩崎ガバナー補佐、村松事務局長、1年間がんばってください。本日はよろしくお願いたします。

委員会報告

本日のプログラム 【 第1回ガバナー補佐訪問 】

静岡第5グループガバナー補佐 岩崎 伸次 様



今年度、2620 地区静岡第 5 グループガバナー補佐の大役を賜りました、岩崎伸次と申します。与えられた任務を精一杯来年の6月まで務めさせていただきますので宜しくお願い致します。

私は1992年3月に入会、2014~2015年度中村ガバナーと一緒に会長を務めました。ガバナー補佐は、RI 会長、地区ガバナーの方針を伝え、クラブの情報やクラブと地区の調整も担っていると言われています。会員皆様のお力をお借りして、今年度活動したいと思っておりますので宜しくお願い致します。

今年度の RI 会長は、スコットランドのエディンバラで歯科医院をやっておられます。ゴードン R. マッキナリー RI 会長は、私たちの最も優れた仕事のいくつかは、他の人たちの継続的な取り組みをサポートすることである。今後さらに大きな成果が成し遂げられるようにしていきましょう。これからの私の仕事、そしてすべてのロータリーリーダーの仕事の多くにおいては、継続が重要となります。継続とは、以前のリーダーたちの良いアイデアを前進させることを意味します。

ポリオの根絶が依然としてロータリーの最優先事項であることはご存じだと思います。それなのにポリオ根絶キャンペーンに寄付しているロータリー会員は約 12 人に 1 人にすぎず、毎年寄付しているクラブも 5 分の 1 を下回っています。

行動計画のうち、皆さん全員に概に暗記して欲しいと思う部分があります。それはこのビジョン声明です。「私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人々が手を取り合って行動する世界を目指しています」。行動計画を受け入れ、実行するための現実的な方法をクラブに提供することこそが、地域社会で持続可能な変化を生む最善の方法です。そのために、これからのビジョンを実現させる二つの具体的な有望な方法に重点を置きたいと考えています。

一つは、平和にさらなる主眼を置くことです。平和とは、希望が根づくための土壌です。もう一つは、

メンタルヘルスで、ほかの人を助けることで、本質的に自分自身が助けられるのだと言われています。2023-24 年度テーマは「世界に希望を生み出そう」であることをここにお知らせします。

中村ガバナーから、ゴードン会長が継続の重要性を強調されました。自分らしくあるために、思いやりある行いで、不親切な世界をあっと言わせるために。私たちは、世界で、地域社会で、そして、自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために人々が手を取り合って行動する世界を目指しています。

行動計画に盛り込まれるべき要素として、四つの戦略的優先事項に従い、このように示されました。

1. 既知の成果と実証された証拠に基づいて奉仕プロジェクトを立案する方法について会員に話す必要があります。
2. 互いに、そして私たちが奉仕するすべての人とオープンで、インクルーシブで、思いやりのある心をもって接しましょう。
3. 世代や国境を越えて活動し、関係を築くためのあらゆる機会を探し求めてください。
4. 世界に持続可能な変化を生む新しいアイデアや視点を、進んで受け入れてください。

国際協議会で印象的だったのは、人をケアする私たちは、まず自分自身をケアしなければならない。との短いフレーズです。継続がもたらすこれからの活動すべての目標は、希望を取り戻すことです。

Rotary は、平和、機械、生きる価値ある未来の土台を築いています。私たちが得意とすることを継続すると同時に、変化に対してオープンで前向きになり、世界と自分自身の中に平和を築くことに力を注げば、Rotary はより平和で、より希望のある世界を導くことが出来ます。

世界に希望を生み出そう CREATE HOPE in the WORLD

特に今年度は、ガバナーから合同奉仕活動の実施をお願いされました。以上、地区の方針と現状をお伝えいたしました。

それでは最後になりましたが、貴クラブの益々の繁栄を祈念するとともに、第 5 グループの連携と親睦が深まりますよう、皆様方のご理解とご協力を賜りますことをお願いして、挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。



5 分 間 スピーチ



酒井 健太郎 会員

4月に新たにロータリーの会員となり、まだ自分がどういう人間かよくわからないと思うので、今回のスピーチは簡単な自己紹介をさせていただきます。

名前は、酒井健太郎。苗字に酒が付いているが、お酒を飲むとすぐに顔が真っ赤になってしまいます。でもそれなりに飲むのは好きなので、心配しないでください。

生まれは愛知県豊川市で、豊川稲荷が近く、幼少期は境内でおにごっこなどをして遊んでいました。性格は人からは優しく気配りのできる人と言われることが多いです。

幼稚園の頃からサッカーをやっており、小、中、高は部活に励み、大学では地元の社会人チームに所属して、30歳までやっていました。30歳の時に、プロサッカー選手がやるような大怪我をして、右ひざの半月板損傷、前十字靭帯断裂です。手術はしておらず完治していないため、激しい運動ができなくなってしまいました。

そこから体重が徐々に増加。職場の保健指導の対象にもなり、4月から保健士からオンラインで指導を受けています。アプリで体重を記録し、食事内容も記録。ロータリーの食事の写真を撮っていますが報告のためであり、温かい目で見守っていただきたいです。子供のためにも自分のためにも健康で長生きしたいので、ここに皆さまの前で宣言します。年内に5キロ痩せます。さぼっていたら叱ってください。ロータリーの活動にも積極的に参加し、体を動かしたいです。

最後に。自分は今まで人に恵まれてきたと思います。そして今回ロータリーの皆様方と出会うことができました。この出会いを大切に、自分ができることを精一杯頑張っていきますので、どうぞよろしくお願ひします。

=====



森 俊幸 会員

久しぶりの5分間スピーチです。

今年で19年目になり新しい会員の皆さんも増えましたので、

自分の入会から現在までのエピソードを簡単に紹介させていただきます。

入会は2005年7月です。当時はロータリークラブの認識もあまりなく、入会する気持ちもありませんでした。きっかけは、たまたま白井繁充さんからゴルフに誘われ参加したことでした。その時一緒にプレーした中のお一人が、三島RCの山岡さんでした。ゴルフの後、5人ほどで飲み会をしました。その場で、山岡さんが白井さんに「繁充ちゃん、更生の道を歩くためにもロータリークラブに入会しろよ。今ここで、俺の名刺に入会するとサインしろ。」と言っているのを聞き、横で飲みながら大変だなあと他人事でした。すると山岡さんが「森君。君もついでに繁充ちゃんの横に名前書いとけよ。」??と言われ成り行きで記名し、白井さんと同時に入会に至りました。

その後は、2010年の幹事を予定者の体調不良で6か月ほど前に急に幹事職を言い渡されたり、当時の会長が任期満了2日前に突然退会届を出され、自分も会長と一心同体の幹事として一緒に退会すると言ったことで、会にご迷惑をかけてしまいました。

2019年度に会長を仰せつかりました。この年度は、35周年で記念事業を含め多くの活動をさせていただきました。年が明け2020年の1月頃からコロナが急速に蔓延し、ロータリークラブの例会や事業に支障をきたしてくることとなりました。残念ながら35周年の集大成としての35周年記念式典は中止となり、6月に例会を使用しての会員のみでの式典をささやかに行うこととなりました。ここから3年ほどのコロナ禍が続きました。

当会も、来年度は40周年を迎え、またガバナ一補佐輩出と多忙な年度となります。私としましても、来年度が順調にいくように積極的に関わって協力していきたいと思っています。

プログラム案内

8月 8日(火) 会員増強担当プログラム 理事会

8月 15日(火) 特別休会

8月 22日(火) 会場監督担当プログラム

8月 29日(火) 特別休会

9月 5日(火) 国際奉仕担当プログラム 理事会

9月 12日(火) 合同観月会